

ばらき台団地のシニア・団塊世代の新たな試み

子どもを見守り、子どもにも見守られ。

昨年の大型連休明けの5月、新潟市で当時小学2年生の女子児童が下校途中に男に連れ去られ殺害、線路に遺棄されるという大変痛ましい事件が起きました。

ばらき台団地住民による

登下校の見守り活動

「市外に暮らす小学2年生の孫がおりますから、新潟の事件は他人事だとは思えませんでした」と話すのは、ばらき会学童見守り隊として活動する緒方浩二郎さん(72)。

見守り隊は、新潟市の事件を受けて児童たちの安全を守ろうと、ばらき台団地の住民で結成されたグループ。

昨年9月からばらき台団地と茨城地区から南小学校に通う児童たちの下校時の見守りを行っています。隊員数は68歳から81歳までの18人。3〜4人のグループで、下級生が

下校する午後2時50分から、上級生が下校を終える午後4時20分まで毎日行っています。

会社員時代の経験を

地域に還元するシニアたち

ばらき台団地には、定年退職後の男性たちで結成された「ばらき会」というゴルフチーム(高野羊司会長)があります。ゴルフで汗をかいた後の打ち上げで、数年前から「何か人の役に立つことをしたい」という話が出ていました。

防犯パトロール、免許を返納した高齢者の送迎などいろいろなアイデアがありました。新潟の事件をきっかけに子どもたちの見守りを行うという機運が高まります。

そこで緒方さんを始めとするばらき会の有志で、小学校や市役所・子ども会・警察署などの関係機関に相談に行き、仕組みづくりを検討。散

歩がてら地域の見守り活動を行う「エンゼルパトロール」という市役所の制度を活用することにしました。

活動計画を立てて、当番やルールを決め、活動を始めるからは、子どもたちの様子や通学路の状況をまとめた日報を作成し、活動状況を把握できるようにしました。

「目的を共有して、ルールを決めて実行する。何かあれば情報共有して話し合いながら続けていく。仕事を進めるのと一緒ですよ」と話す緒方さんは重機の開発をしていた元エンジニア。佐賀県のご出身です。

住宅地は多様な人財の宝庫

ばらき台団地は昭和51年にできた住宅地で350世帯が暮らします。市外、県外から移り住んだ住民も多くいます。見守り隊の隊長を務めるの



(写真説明) ① 立哨場所は大谷津地区の踏切、山王川橋交差点、ばらき台入口交差点、団地内の公園の主に4か所。曜日によって隊員の数異なるので、隊員の人数の多い時は、学校まで子どもたちを迎えに行くこともあります。

毎日、皆さんが「防犯」の文字の入った帽子をかぶり、立っていることは、犯罪の抑止力になっています。

は窪^{さいじ}幸治さん(76)。窪さんは銚田市出身の元警察官。仕事柄、転勤が多かったため、どの町へも行きやすい石岡市に居を構えました。

「警察に勤めていたならと、隊長を仰せつかりました。仕事での経験が、こうして地域に役立っていると思うと嬉しいです。子どもの見守りと言っています。子どもたちが見守られているような気がするんですよ」

日本の高度経済成長を縁の下で支えた、ばらき台団地のシニアたちは、今、地域の縁の下の力持ちとして活躍していました。

出身地もそれぞれ、職業もそれぞれ。現役時代は仕事一直線だった男性たちが地域の中でつながるには、きっかけとなる場が必要です。

ばらき台団地の見守り隊の場合は、ゴルフチームの「ばらき会」でした。

自分たちのふるさとをつくるような気持ちで

ばらき会ができるきっかけは、昭和53年にできたばらき

台団地のソフトボールチーム「VDチーム」にさかのぼります。これはPTAのお父さんたちが大会に出るために作ったチームで、日曜日の朝に南小で練習するのが、忙しい仕事の合間の気分転換。

当時のメンバーが高齢化したため、チームは若い人に引き継ぎ、平成24年に新たにゴルフチーム「ばらき会」をつくりました。

ばらき台に引っ越してきた直後からVDチームに参加した緒方さんは「ふるさと佐賀に帰省すると、地元に残った友人たちが地元の話をしているのが羨ましかった。だから、子どもたちのふるさとをつくってやりたい」と思って石岡に暮らしていたら、いつの間にか仲間ができて、自分のふるさとにもなっていました」と話します。

昨年度末、ばらき台団地と茨城地区の子どもたちから、見守り隊の皆さんに贈られた「毎日ありがとうございました」と書かれたお礼のメッセージカードは額に入れて公民館に大切に飾られていました。

定年退職後の

男性の地域活動

気の合う地域の仲間とつながれば、日々の暮らしは楽しくなる。

ばらき台団地には、職種や出身地を越えて男性たちが趣味でつながって生まれた「学童の見守り」という地域活動がありました。

6月は新入学児童の交通事故の発生件数が増える時期でもあります。ドライバーの皆さんは安全運転をお願いします。

また小さなコミュニティを作り、地域での暮らしを楽しみながら活動している方々がいらしゃったら、ぜひ情報をご提供ください。

☎ 秘書広聴課(本庁)

Tel 23・7275



(写真説明) ②「勤めている時は、仕事仕事で地域との関わりもなかった。退職後、ゴルフをきっかけに、近所の人たちと一緒に出掛け、楽しく過ごせるのは幸せなことだよ」と話す見守り隊長の窪さん、櫻井さん、宮原さん(写真左から) ③ 緒方さんのお宅に何うと、見守り隊の活動に関する資料を始めとして、ソフトボールの「VDチーム」、ゴルフの「ばらき会」の資料がきれいにファイルにまとめられていました。